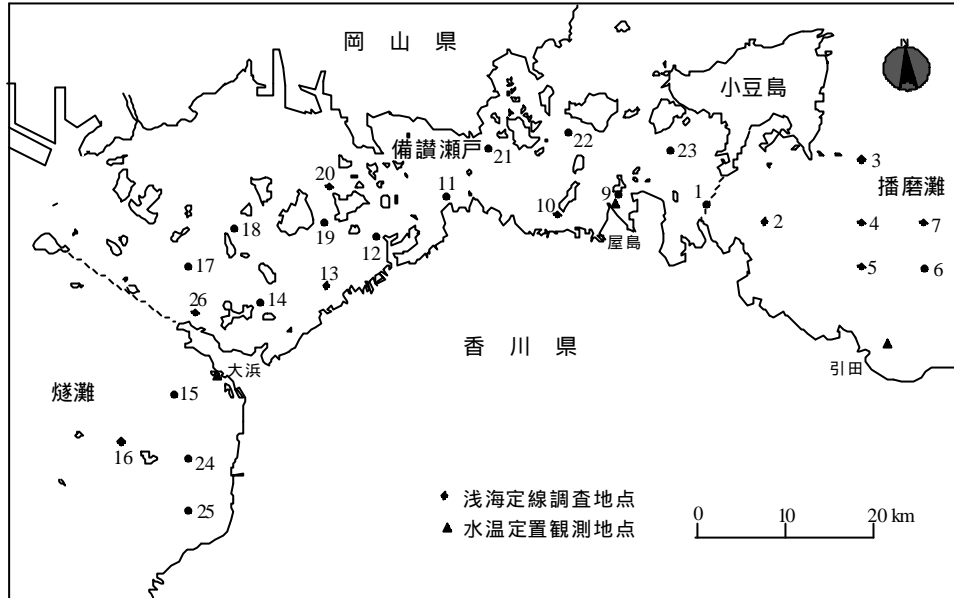


香川県漁海況速報 平成14年4月 (H14-1号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成14年4月4日(播磨灘)、3日(備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「かなり高めから著しく高め」、塩分は「やや高め」、透明度は「やや低めから平年並み」、溶存酸素は「かなり低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	11.5	11.4	10.8	32.9	32.9	33.0	9.3	6.11	5.92
	平年値	10.2	9.9	9.5	32.3	32.4	32.5	8.8	6.50	6.23
	平年偏差	1.3	1.5	1.3	0.5	0.5	0.5	0.5	-0.40	-0.30
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	かなり低め	やや低め
備讃瀬戸	14地点平均値	12.6	12.3	12.3	33.2	33.2	33.2	4.0	6.29	6.09
	平年値	10.3	10.1	10.3	32.5	32.5	32.8	5.5	6.25	6.24
	平年偏差	2.3	2.2	2.0	0.6	0.6	-29.6	-1.5	0.00	-0.20
	状況	著しく高め	著しく高め	著しく高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	平年並み	やや低め
燧灘	4地点平均値	14.7	12.1	11.6	33.6	33.5	33.6	7.5	6.21	5.80
	平年値	11.2	10.5	10.2	32.9	33.0	33.1	8.1	6.35	6.03
	平年偏差	3.4	1.7	1.4	0.7	0.5	0.5	-0.6	-0.10	-0.20
	状況	著しく高め	著しく高め	著しく高め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	やや低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

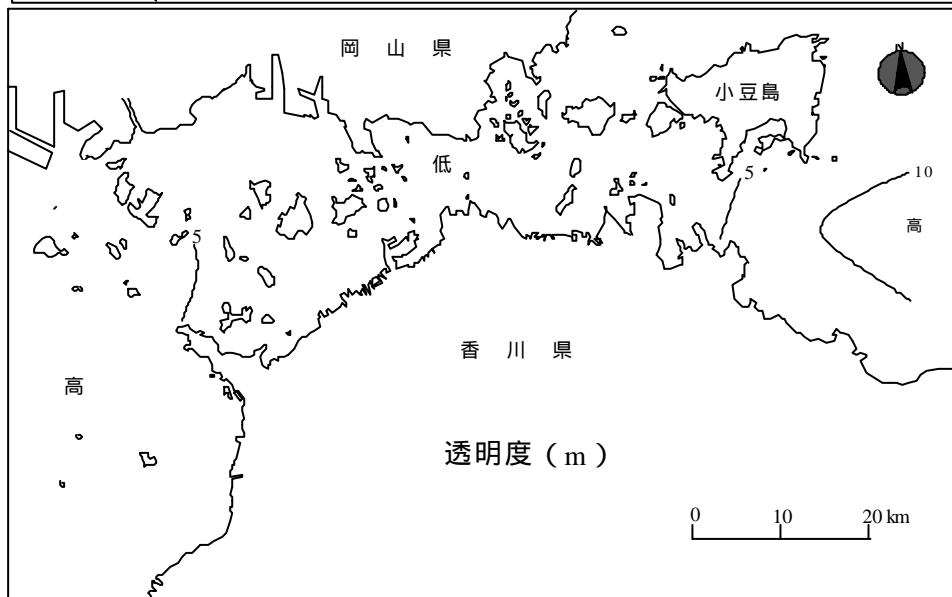
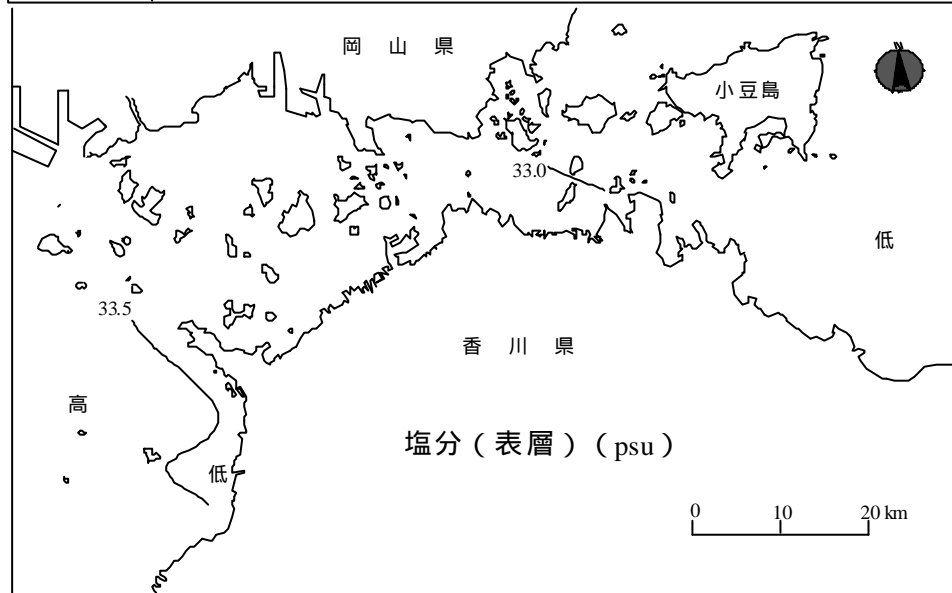
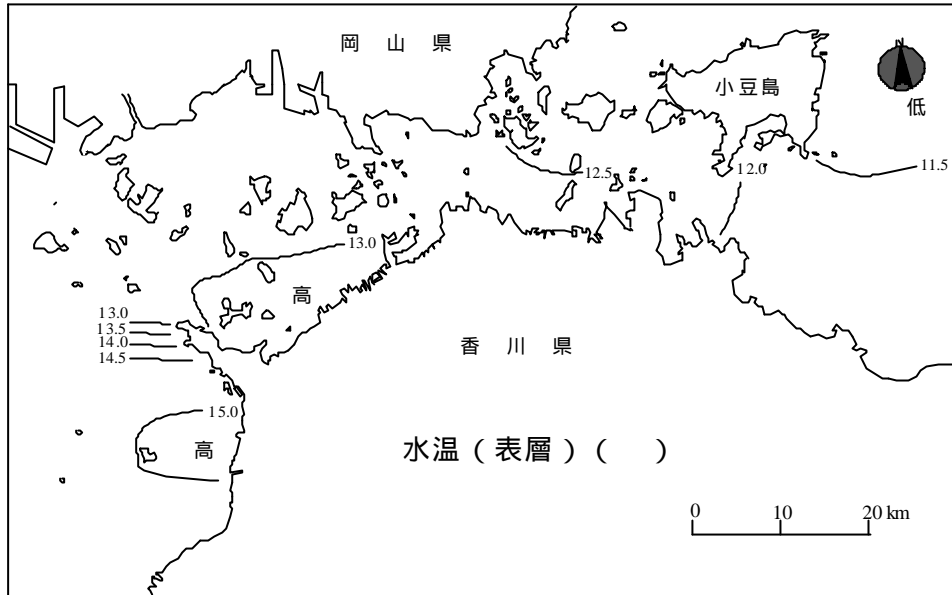
平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成8(1996)年度

透明度：昭和58(1983)～平成8(1996)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差
		: 標準偏差

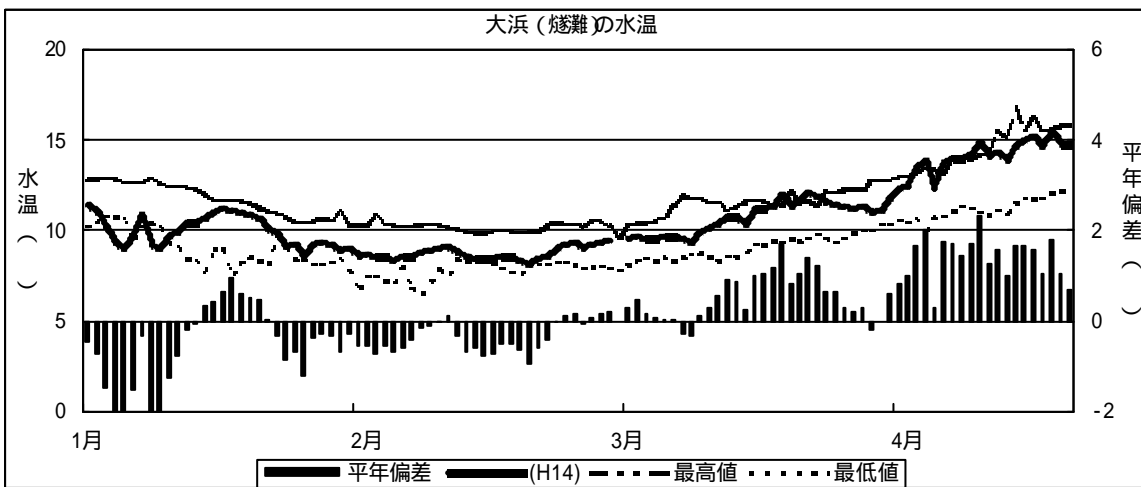
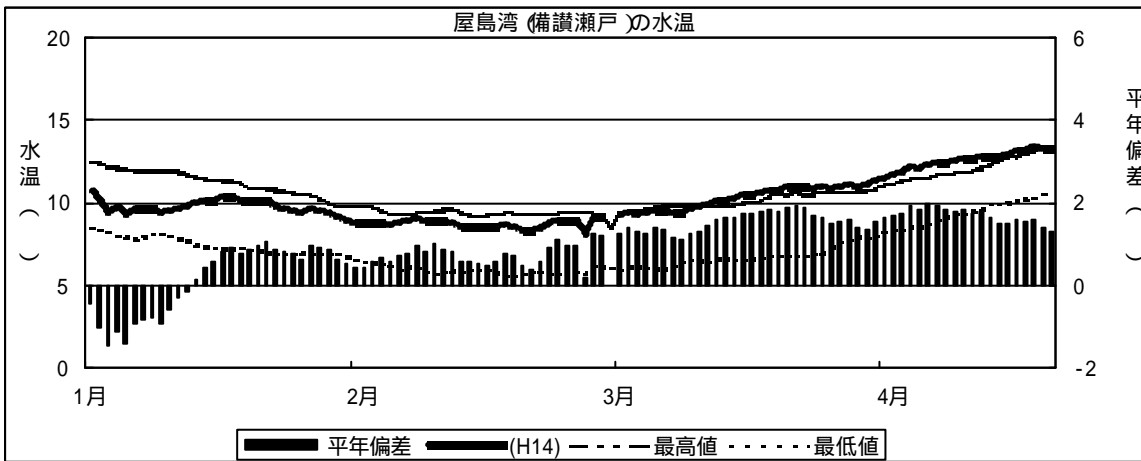
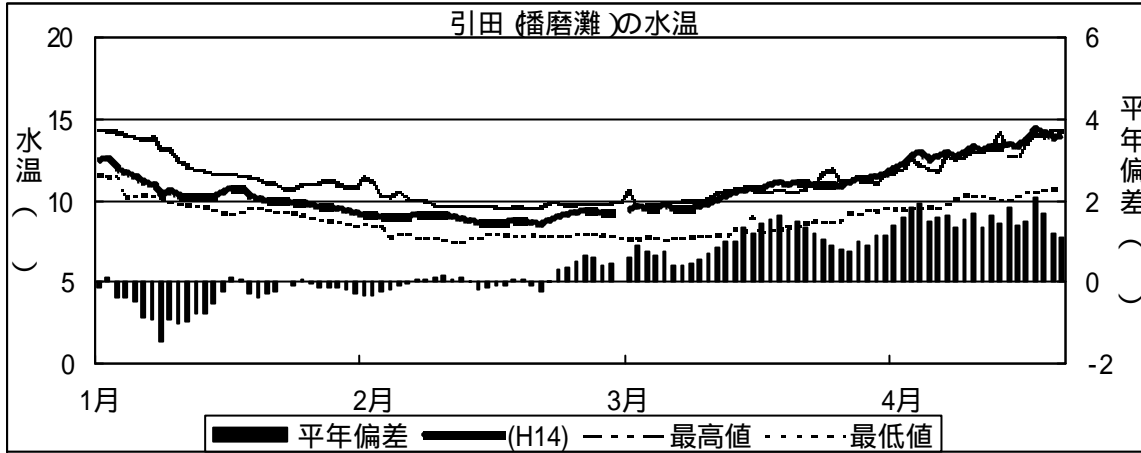


2) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 2月下旬から平年偏差が大きくなり、3月に入り平年より1~2程度高く推移している。

備讃瀬戸(屋島): 1月中旬以降、平年より0.5~1.5程度高く、3月に入り更に偏差が大きくなり1.5~2程度高く推移している。

燧灘(大浜): 3月中旬以降ピークで平年より1.8程度高くなったが、月末には平年に近づき、4月に入り再度偏差が大きくなり平年より2前後高く推移している。



平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成12(2000)年
屋島: 昭和50(1975)~平成12(2000)年

3) 赤潮

播磨灘：発生なし。
備讃瀬戸：発生なし。
燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成14年4月4日（播磨灘）、3日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾） / 1 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.38
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.29	1.21
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.29	0.00
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.24	0.00

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	0.0%	0.0%
備讃瀬戸平均	-	-	0.0%	0.0%
燧灘平均	0.0%	-	0.0%	0.0%
総平均	0.0%	-	0.0%	0.0%

- 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和 55（1980）～平成 12（2000）年度

マイワシ：平成 5（1993）～平成 12（2000）年度

カタクチイワシ、マイワシの卵稚仔は、全ての調査地点（浅海定線調査と同じ）において、採集されなかった。

2. 漁況

3月から漁況は、次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底曳き網は全般的に低調であるが、主にウシノシタ類、メイタガレイ、フグ類が漁獲されている。 柵網では主にマダイ、スズキ、ボラ類、コノシロ、ウマツラハギ、クロダイが漁獲されている。
備 讃 瀬 戸	底曳き網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、イイダコが漁獲されている。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業はほぼ4月中旬をもって漁期を終了した。 高松・庵治沖のイカナゴ込網の3月の漁獲量は、前年の78%と低調である。
燧 灘	底曳き網では主にメイタガレイ、シャコ、フグ類、コノシロ、ヒラメが漁獲されている。 柵網は3月15日から漁期が始まり、主にマダイ、ウマツラハギ、ヒラメ、クロダイが漁獲されている。 サヨリ機船船びき網は4月10日から漁期が始まり150～200kg/日・隻の漁獲がある。

事 務 連 絡
平成 14 年 月 日

漁海況担当者 殿

香川県水産試験場
藤沢節茂

「香川県漁海況速報 平成 14 年月」の訂正について

過日送付した標記の速報について、? に誤りがありました。お詫びいたします。
つきましては、お手数ですが、? 1 ペ - ジを別紙に差し替えてくださるようお願いします。